

岡山市出身、大森清児が高粱市をロケ地に処女監督作品

# 家族の目

絆を失いかけた家族のひと夏の物語

2019 4/30

祝・火

【午前の部】10時上映(9時30分開場)  
【午後の部】14時上映(13時30分開場)

会場 玉島市民交流センター湊ホール

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1 ☎086-526-1400 (玉島文化センターバス停徒歩5分)  
※駐車場に限りがありますので公共交通機関のご利用 乗りあわせをお願いします。

入場料

一般(前売) 800円(当日1,000円)  
小学生(前売) 300円(当日500円)

田舎で  
ノビノビ育てる!

会社は? 学校は?  
スーパーは?

マジ  
むかつく

虫と  
ピーマンは  
苦手だよ

ケンキョウ  
ケンキョウ

主催・お問い合わせ・チケット販売 / 玉島市民交流センター TEL.086-526-1400

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1

[チケットの取り置きは住所・氏名・電話番号・チケット区分・枚数を記入してFaxにて受付します。Fax086-526-1407]

チケット販売 / アルスクらしきチケットセンター ☎086-434-0010 インディスク(天満屋倉敷店4階) ☎086-422-1457

後援 / 倉敷市・倉敷市教育委員会・山陽新聞社・FMくらしき・玉島テレビ放送  
玉島商工会議所・玉島信用金庫・玉島おかみさん会





# 「おはよう」って起きて、「美味しい」って食べて 「ありがとう」って、一日が終わる、家族の日

人は独りでは  
生きていけないんだ



伊原 剛志

もし、戻らんだったら  
全員で戻るべきよ



田中 美里

東京からこちに  
Uターンしてきました



平田 満

田舎は頭が  
古すぎます



川中 美幸

教え子が  
二人になって  
楽しみです



大竹 まこと

困ったことが  
あったり  
なんでめゆ〜へよ



川上 麻衣子

大丈夫、大丈夫と  
星が降る



岸部 一徳



茂山 慶和

「うちの子がいじめを!？」

したので、中学校に行って謝罪を

「うちの子がいじめを!？」

受けたので、小学校に行って抗議を

加害者と被害者の親に、同時になってしまった

君原信介は、家族の前に宣言します

「お前たちは田舎でノビノビと育てる」

「会社は?学校は?スーパーは?」と、不安げな妻の喜美子

「マジむかつく」と、切れかけている長女の絵里

「虫とピーマンは嫌いだ!」と、気の弱い長男の好太郎

唯一人、次男の真琴だけが「カブトムシさんいるかな?」と、興味津々

東京から岡山県高梁市へ、バラバラの思いのまま君原家は移住します…

しかし、そんな田舎生活が順調に行くワケもなく

ついに信介は東京へのUターンを決意します

その頃、真琴は山奥に独り住む「ターザン」と呼ばれる、正体不明の老人と仲良くなっていました

鶏の生き血を囓って生きている!と、過剰に恐れられているターザンなのですが

どういう訳か真琴が気に入り「ケンちゃんタ」の呪文を教えてください

この呪文を唱えた途端、弱っていたカブトムシが何故か元気になり

真琴はターザンが大好きになってしまいます

そして事件です!真琴が行方不明に!

駐在が走る、帽子が山で見つかり、パトカーも来て、ターザンが誘拐したことになります

消防団が集められ山狩りが始まります。が、見つかりません

真琴は無事に戻ることが出来るのでしょうか?

そして君原家は真の「家族の日」を迎えることができるのでしょうか?

伊原 剛志 田中 美里 中瀬 優乃 茂山 虎真 茂山 慶和

平田 満 川中 美幸 大竹 まこと 川上 麻衣子 岸部 一徳

監督: 大森青児 脚本: 富川元文 音楽: 渡辺俊幸

企画・制作・配給: 花三 協力: 高梁市 岡山市 たかはしフィルム・コミッション 高梁市観光協会

2016年/日本/104分/カラー/デジタル/ビスタ/5.1ch ©2016映画「家族の日」製作委員会

監督: 大森青児 脚本: 富川元文 音楽: 渡辺俊幸 総合プロデューサー: 安梨香 プロデューサー: 森平人

撮影: 田井良雄/山下昭 CG製作: 鈴木英雄 音響デザイン: 吉田秋男 音声: 佐藤善次郎 特撮: 羽田道成 照明: 宮本文大 編集: 狩森ますみ 記録: 柳川容子 録音: 木村冬樹 プーム: 板本岳志 映像技術: 辻克喜  
美術: 藤井俊樹 題字: 竹内志朗 装飾: 荒川あけみ/西田知史 ヘア・メイク: 多久島美砂/早稲みち子 衣裳: 小嶋千恵/戸高幸子 スチール: 中村光博 エンドロール: 岡本 崇 ポスターデザイン: 小島達也/藤枝麻衣子  
協力: 高梁市/岡山市/たかはしフィルム・コミッション/高梁市観光協会 企画・制作・配給: 花三

kazokunohi.jp facebook.com/kazokunohi.movie #家族の日